



撮影：天野雄介

「あんず便り」に思うこと

季刊の「あんず便り」がVOL76となります。臨時休刊の記憶もあるので20年になるのは間違いないと振り返ってみました。

始まりは、平成6年開設のあんず苑（武蔵野市）の開設準備担当として都庁に通っていたときに、担当の方から（当時医療機関の広報は内容の制限大でした）新しく創設された施設なので、都民や市民の皆様には広報誌等を活用した周知も、検討されてはと助言されたことでした。

紙ベースの既刊号は保管されているのですが、その当時の原稿づくりの記憶を辿ってみようと思い立ち、元原稿の残骸でもないだろうかと探してみることにしました。

あんず苑は東京都で12番目、武蔵野市では初めての老人

保健施設です。平成5年当時の開設許可に至るまでの申請書類の作成は、手書きかワープロで作成していました。2年後の小金井あんず苑の開設準備のときには、書式のやり取りがフロッピーディスクになり、その頃からの様々な原稿データは膨大なフロッピーディスクに残されています。余談になりましたが、あんず便りの原稿データも平成12年秋号からのフロッピーディスクが手元に残っておりました。残念なことに、ワープロの電源コードが行方不明でフロッピーの中身は確認できませんでした。

広報誌発刊に大変積極的であったのが、天野雄介前理事長でした。担当の私が原稿集めに四苦八苦している横で、ウキウキ楽しそうに短眼鏡で何十枚というネガから、納得の一枚を選択している姿は至福のひとつのようでした。「あんず便り」の広報誌としての効果に絶大な貢献をしたのが、彼の自慢の花の写真でした。園芸種より山野草、特に人知れずひっそりと咲く野生ランや野草を、自然の環境の中で見つけて撮影することを信条としていました。多くの方々から花にある癒しのお便りもいただきました。まずは手に取って見ていただくことが大切なことでした。

「あんず便り」の広報誌としての役割も、時とともに変わってまいります。情報の伝え方が多岐にわたるこの時代に、何を得るための情報にすべきか戸惑うこの頃ですが、引き続きお目にとめていただければ幸いです。

一般財団法人天誠会 理事長 天野 久美子

本号の目次

1面 ごあいさつ

2面 地域包括ケアを考える

3面 活動ピックアップ

4面 事業所短信

一般財団法人天誠会 理事長 天野 久美子

武蔵境病院 院長 天野 英介

・地域のお祭りに参加 地域貢献事業

・武蔵境病院

・小金井あんず苑

・事業本部



地域包括ケアを考える

むしむしとした嫌な季節になりましたが、皆様体調いかがでしょうか。今年の夏の暑さはどうなるか気がりではありますが、皆様におかれましては体調管理にはくれぐれもご用心いただきたいと思います。

さて、今号では「地域包括ケア」について考えてみたいと思います。最近、私たち医療や介護分野ではよく「包括」という言葉が使われます。辞書で調べると「全体をひっくるめてまとめること」とありますが、いささか乱暴に感じてしまいます。地域包括ケアは厚生労働省が2014年に提唱した概念（下図参照）ですが、辞書の意味をそのまま使うと、「地域をひっくるめてまとめてケアする（しなさいよ）」ということになるかと思えます。

いままで私たちの暮らしを支えてくださった団塊世代の方々の医療・介護の需要が最も膨らむのが2025年といわれており、この「地域包括ケア」というのは各々地域で対策を考えなさいという国の構想であります。私たちのホームグラウンドである武蔵野市でも医療介護連携推進協議会を設置して（私も武蔵野市医師会病院部代表として参加しております）この問題に取り組んでおります。この「地域包括ケア」とは何ぞやと漠然と考えてきましたが、端的に言えば、住み慣れた自宅もしくは地域で暮らし続けるために地域の医療機関、介護施設等が連携し支援するということと考えます。武蔵境病院にはグループ内にあんず苑、小金井あんず苑、あんず苑訪問看護ステーション、ケアプランセンターなど関連介護事業所がありますが、グループ内の連携強化はもとより、この地域で汗を流している医療機関や介護事業所と手を携えて、地域で暮らしている方々の生活の医療面・介護面から連携してサポートすること、これがこの地域での「地域包括ケア」だろうと私たちは考

えています。

ここで申し上げたいのは、皆様には、例えばあんず苑を利用するには武蔵境病院を利用しなければいけないなどといった遠慮はなさなくて構わないということです。また、当院をご利用いただいている患者様が介護サービスを利用される場合にも、天誠会グループ内の介護事業所を利用されるご配慮の必要はありません。ご利用されている医療機関や介護施設などの法人（会社）が違っても、お互いに連携し利用されている患者様・利用者様について状況を把握し最善のサービスを提供する、これが地域包括ケアの目指すところと考えるからです。ひとりひとり必要なサービスや、かかられている病気なども異なります。そのためオーダーメイドの医療・介護サービスがあってしかるべきです。私たちが取り組まなければならないことは関係する医療機関・介護施設などと連携し、皆様に最善の策を考え提供することだと考えます。他法人との連携・協業を深めることが、この地域の「地域包括ケア」の質を高める（皆様が住み慣れたこの地域での生活の維持）ことにつながるのだと私もは考えております。

私も40半ばを迎え、月日の流れの速さに戸惑う今日この頃ですが、2025年、遠いようであるという間に迎えることになるかと思えます。冒頭、「包括」という言葉についていささか乱暴と申し上げましたが、私たちグループ職員一丸となって、このエリアの「地域包括ケア」を率先して、乱暴ではなく、丁寧かつきめ細やかに対応していく所存でございますので、是非地域の皆様には注目していただきたいと思います。これからも、当院ならびに当グループをよろしくお願い申し上げます。

武蔵境病院 院長 天野 英介

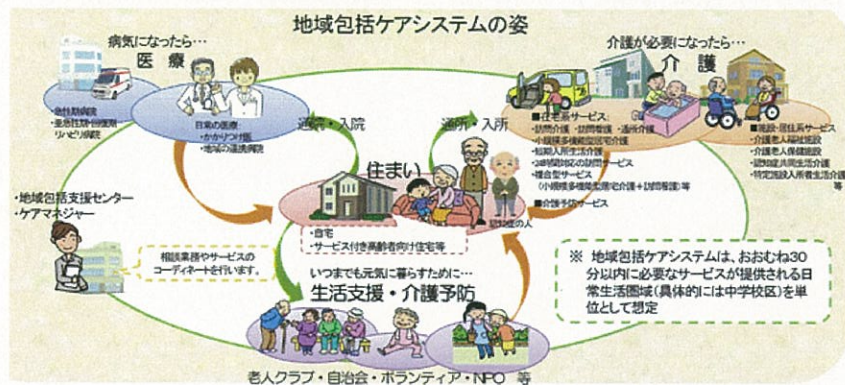


図) 出典：厚生労働省 2014年

活動 トピックス



地域のお祭りに参加「地域貢献事業」

当法人では、地域貢献事業の一環として、毎年、地域の祭りイベントに積極的に参加しています。4月9日（土）に開催された、みずき通り商栄会様主催の”やきいも音楽会”では、病児保育室のスタッフがヨーヨー釣りを行いました。また、5月21日に開催された”武蔵境ピクニック”では、武蔵境病院とあんず苑の管理栄養士による、栄養相談コーナーを実施しました。来年以降も、積極的に参加していきます。

やきいも音楽会



武蔵境ピクニック



事業所短信

【武蔵境病院】

武蔵境駅北口広場の完成により、駅改札から当院までのアクセスが、より便利になりました。
ただし、歩道等が広くなったため、スピードを出す自転車もあります。いままで以上にご注意の上でご来院ください。

【小金井あんず苑】

地階の改修工事を実施します。浴室をリニューアルし、利用者様の満足度向上に努めます。
工事期間中は、通行の妨げ、作業音などによりご不便をおかけする可能性があります。
なにとぞ、ご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願いします。

工事期間 I 期工事（主に浴室改修） 7月上旬～10月下旬
 II 期工事（主に家族介護教室など） 10月下旬～12月下旬

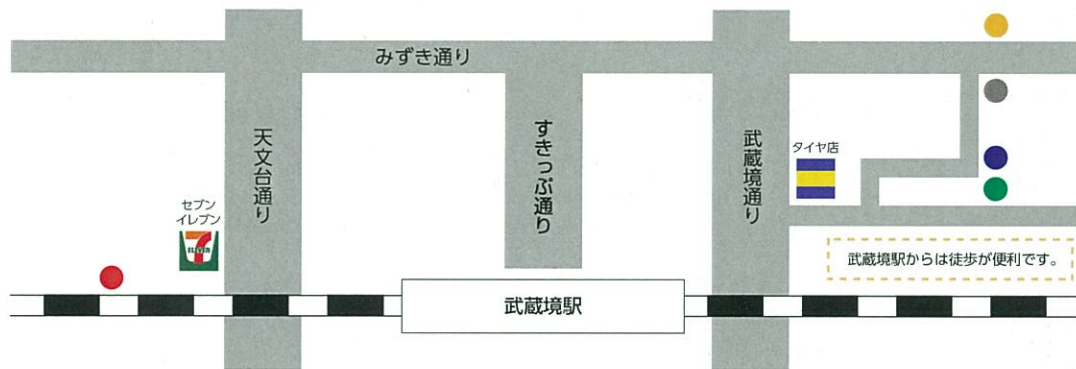
【事業本部】

平成 28 年熊本地震に際して、当法人内の各事業所の事務受付に設置しました募金箱に、
患者様・利用者様からお預かりした総額は、99,903 円となりました。
日本赤十字社を通じて、被災地の皆さまへお届けしました。ご協力、ありがとうございました。



編集後記

平成 28 年熊本地震に際し、武蔵境病院から被災地へ支援物資を緊急輸送しました。先日、熊本県医療法人協会様からお礼状を頂戴しました。学生のころ、中曽根元首相と哲学者の梅原猛先生の対談集を読んだことがあります。「同じ歴史や文化を共有する人に対しては自然と手助けできるもの」という内容があったことを覚えています。今やインターネット等を通じて世界中の人々と文化を共有しています。分け隔てなく、困っている人を手助けするそんな行動を実践していきたいと、改めて思いました。（きたむら）

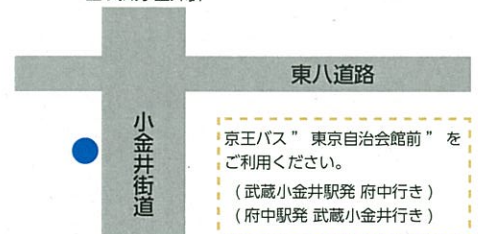


● 事業本部 / 総務部	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-52-1345
● 武蔵境病院	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-51-0301
● 介護老人保健施設 あんず苑	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-5	TEL. 0422-36-6262
● 介護老人保健施設 あんず苑アネックス	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3655
● あんず苑訪問看護ステーション	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3666
● あんずケアプランセンター武蔵野	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-6565
● 武蔵境病院附属 あんずクリニック	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-1-15	TEL. 0422-50-9770
● 病児・病後児保育室 プチあんず	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-2-27	TEL. 0422-50-9774

● 〒184-0013 東京都小金井市前原町 5-3-24

介護老人保健施設 小金井あんず苑	TEL. 042-388-7511
グループホーム 杏の家	TEL. 042-388-7523
あんず苑訪問看護ステーション サテライト小金井	TEL. 042-388-7521
あんずケアプランセンター小金井	TEL. 042-388-7531
あんずホームヘルプサービス小金井	TEL. 042-388-7532
小金井みなみ地域包括支援センター	TEL. 042-388-8400

至 武蔵小金井駅



京王バス「東京自治会館前」をご利用ください。
(武蔵小金井駅発 府中行き)
(府中駅発 武蔵小金井行き)

ホームページ



法人本部・介護・地域貢献
武蔵境病院
あんずクリニック

<http://www.tenseikai.or.jp>
<http://www.tenseikai.or.jp/sakai-hosp/>
<http://www.tenseikai.or.jp/anzen-clinic/>